



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 ソースネクスト株式会社  
コード番号 4344 URL <http://www.sourcenext.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 COO (氏名) 小嶋 智彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 CFO (氏名) 青山 文彦

TEL 03-5797-7165

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,516	10.5	849		710		544	
2024年3月期第1四半期	2,277	12.0	962		873		770	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,013百万円 ( %) 2024年3月期第1四半期 843百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	4.02	
2024年3月期第1四半期	5.69	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	16,591	8,596	49.0	59.94
2024年3月期	16,811	8,389	48.0	59.56

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 8,125百万円 2024年3月期 8,073百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

2025年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で精度の高い業績予想算定が困難なことから、引き続き非開示とさせていただきます。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1Q	136,358,300 株	2024年3月期	136,358,300 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2025年3月期1Q	800,024 株	2024年3月期	800,024 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	135,558,276 株	2024年3月期1Q	135,549,576 株
------------	---------------	------------	---------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復や株価上昇の流れの中で、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、円安のさらなる進行や原材料・エネルギー価格の高騰、中国経済の先行き懸念、中東情勢の緊迫化、ロシアのウクライナ侵攻の長期化等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、2024年4月～2024年6月におけるパソコン出荷台数が前年比108.0%で推移しました(2024年7月、JEITA調べ)。また、2024年4月～2024年6月の訪日外客数は9,218,703人(前期比55.7%増)となり、出国日本人数は2,760,677人(前期比42.4%増)となりました(2024年7月、日本政府観光局調べをもとに当社作成)。

このような環境下において、当社は「製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げる」をミッションに、既存の製品における収益拡大と、お客様のニーズに合った製品の企画・開発による新しいビジネスの創造に取り組んでおります。

製品別の状況につきましては、当社グループのAI通訳機「POCKETALK(ポケトーク)」の国内販売台数は、インバウンド需要の拡大や家電量販店での販売施策実施などにより、堅調に推移いたしました。海外市場については、米国における非ネイティブに向けた多言語対応需要の増加により、教育機関や医療機関、公共機関、その他企業への導入が拡大しております。特に教育機関における需要が高く、米国基準のプライバシー保護法に準拠したことなどが奏功し、さらなる導入の加速に繋がっております。この結果、当社孫会社であるPOCKETALK Inc.(米国)では、2024年2月度に営業利益単月黒字化、第1四半期(2024年1月から3月まで)に営業利益四半期黒字化、そして上半期(2024年1月～6月)においても営業利益黒字化を達成いたしました。

「ポケトーク」ブランドのAI同時通訳「ポケトーク ライブ通訳」につきましては、法人のお客様を中心に導入が拡大しております。「双方向でのコミュニケーションを実現したい」というニーズを受け、自動で言語を判別し、双方向でのコミュニケーションを可能とする新機能をリリースするなど、多言語でもシームレスに意思疎通が出来る世界を実現するべく、機能開発にも継続して取り組んでおります。また、国内の教育現場における「言葉の壁」に着目し、大人数のイベントなどで同時通訳を届ける「ポケトーク カンファレンス」と「ポケトーク ライブ通訳」を組み合わせた、教育機関向けの新製品「ポケトーク for スクール」を発売し、2024年6月には、神戸市教育委員会での導入を発表いたしました。本製品は、利益率の高いソフトウェア製品かつサブスクリプション型製品であるため、安定した収益基盤の形成に資するものであり、今後の成長の柱として注力してまいります。

その他のIoT製品につきましては、文字起こしAI「AutoMemo(オートメモ)」が、2020年12月の発売以来、アカウント登録数を大幅に伸ばし、累計アカウント数(有料、無料の利用者合計)は2024年6月末時点で140,000を突破いたしました。また、β版として公開していた、文字起こしデータのAIによる自動要約機能に加え、2024年5月には、会議で発言されたToDo事項を抽出する機能の搭載を発表いたしました。これらの迅速かつ簡単に議事録が作成できる機能の拡充により、サブスクリプション型テキスト化サービスの会員数も順調に増加しております。

360度webカメラシリーズ「Meeting OWL(ミーティングオウル)」、「KAIGIO CAM360(カイギオ カム360)」の販売につきましては、リモート会議等で活用される法人のお客様からの需要を獲得し、堅調に推移しております。

IoT製品の新製品につきましては、2024年6月に、スマホ用ゲームコントローラー「Backbone One(バックボーンワン)」の国内唯一の代理店となり、全国の家電量販店やオンラインショップなどで販売を開始いたしました。販売開始当初より、店頭での販売が好調であり、今後のさらなる販売拡大に取り組んでおります。

また、2024年3月には、ジャパングolfフェア2024にて、当社の音声認識技術と最新のGPT技術を組み合わせ、ゴルフのプレー中にさまざまなアドバイスを提供する製品として、対話型ゴルフAIデバイス「BirdieTalk(バーディー・トーク)」を発表いたしました。2024年6月には、応援購入サービスサイト「Makuake(マクアケ)」での販売も開始しております。コロナ禍以降、ゴルフ人口は増加傾向であり、当社のお客様との親和性も高いことから、今後の新たな収益増加を見込み、機能開発や認知の拡大を進めております。

ソフトウェアでは、当社の主力製品である「いきなりPDF」で、電子帳簿保存法の改正等に伴いペーパーレス化が進んだことによる需要拡大により、法人や自治体からの大型案件受注が増加し、前期比で売上高が増加しております。また、セキュリティソフトにつきましても、法人向け販売が好調に推移し、前期比で売上高が増加し、好調に推移しております。一方で、主力製品以外のソフトウェアの低調等が影響し、ソフトウェア全体の売上高は前期比で減少いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は25億16百万円(前期比10.5%増)、売上総利益12億58百万円(前期比14.5%増)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、今後の「ポケトーク」事業拡大のための人件費や業務委託費の増加がありました。結果、販売費及び一般管理費は21億8百万円(前期比2.2%増)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業損失は8億49百万円(前期営業損失9億62百万円)となりました。円安の進行に伴う為替差益を1億62百万円計上した影響により、営業外収益は1億70百万円(前期比21.0%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経常損失は7億10百万円(前期経常損失8億73百万円)となりました。また、有価証券売却益1億16百万円を特別利益に計上し、非支配株主に帰属する四半期純損失78百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億44百万円(前期親会社株主に帰属する四半期純損失7億70百万円)となりました。

当社グループはIoT製品、ソフトウェアの企画・開発・販売及びその他のサービス事業の単一セグメントでありませんが、各販売チャネルの営業概況は以下の通りです。

#### ア) オンラインショップ

当チャネルでは、当社直販サイト及びAmazon等の国内ウェブサイトにおけるオンラインショップにおいて、「ポケットーク」や「オートメモ」をはじめとするIoT製品、年賀状ソフトやセキュリティソフトなどのソフトウェア製品等を販売しております。

当第1四半期連結累計期間は、取り扱い製品数の拡充などにより、ハードウェア製品の売上高が前期よりも増加しました。一方で、主力製品以外のソフトウェアの低調などの影響があり、売上高が前期比で減少しました。

この結果、当チャネルの売上高は9億73百万円(前期比4.4%減)となりました。

#### イ) 法人営業

当チャネルでは、法人向けに、「ポケットーク」を始めとするIoT製品ならびにweb会議関連のハードウェアの販売・レンタル提供や、セキュリティ製品・PDF編集ソフト等のパソコンソフトの販売をしております。「スマート留守電」を中心とするスマートフォンアプリケーションのサブスクリプション型サービス提供にも注力しております。

当第1四半期連結累計期間は、当社主力製品である「いきなりPDF」やセキュリティソフトにおいて、法人や自治体からの大型案件受注により売上高が増加いたしました。一方で、携帯キャリアによるアプリ使い放題サービスが低調なことなどにより、売上高は前期比で減少しました。

この結果、当チャネルの売上高は5億34百万円(前期比10.0%減)となりました。

#### ウ) 家電量販店

当チャネルでは、主に全国の家電量販店において、個人ユーザー向けのIoT製品及びパソコンソフト等を販売しております。

当第1四半期連結累計期間は、ハードウェア製品を中心に販売が好調に推移しました。また、「ポケットーク」の家電量販店における販売台数は、前期比で増加いたしました。一方で、将来の期間に返品を見込む製品に係る返金負債を計上したことなどにより、売上高は前期比で減少しました。

この結果、当チャネルの売上高は3億91百万円(前期比6.8%減)となりました。

#### エ) その他

海外では米国や欧州のAmazon及び法人直接販売取引を中心に「ポケットーク」を販売しております。

当第1四半期連結累計期間において、海外での「ポケットーク」販売は、米国での教育機関や医療機関、公共機関、その他企業向けの販売が急速に拡大したことにより、売上高は前期比で増加いたしました。加えて、分析・管理ツール「ポケットーク アナリティクス(米国名:Ventana)」の販売も進んでおり、当製品はサブスクリプション型のソフトウェア製品であるため、今後の継続的な収益も見込めます。

この結果、「その他」の売上高は6億16百万円(前期比152.2%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較し2億19百万円減少し、165億91百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加7億73百万円、売掛金の減少7億41百万円、投資有価証券の減少5億30百万円によるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較し4億25百万円減少し、79億95百万円となりました。短期借入金の減少2億25百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)の減少1億30百万円によるものです。

経営の安定性を示す自己資本比率は、当第1四半期連結会計期間末において49.0%(前連結会計年度末48.0%)と堅調に推移しており、財務の安全性が保持されております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で精度の高い業績予想算定が困難なことから、引き続き非開示とさせていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,282,046	4,055,453
売掛金	1,980,324	1,239,294
商品及び製品	2,494,996	2,400,054
原材料及び貯蔵品	76,622	70,368
前渡金	681,883	920,090
未収還付法人税等	13,528	13,528
その他	233,219	339,140
流動資産合計	8,762,622	9,037,930
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	458,942	443,801
減価償却累計額	△318,516	△322,711
有形固定資産合計	140,426	121,090
無形固定資産		
ソフトウェア	2,333,141	2,238,990
契約関連無形資産	1,001,086	981,711
その他	208,010	371,530
無形固定資産合計	3,542,238	3,592,232
投資その他の資産		
投資有価証券	4,275,658	3,745,603
繰延税金資産	2,251	2,251
その他	88,302	92,855
投資その他の資産合計	4,366,212	3,840,709
固定資産合計	8,048,876	7,554,032
資産合計	16,811,498	16,591,962

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	312,072	306,574
短期借入金	3,825,000	3,600,000
1年内返済予定の長期借入金	520,080	569,568
未払金	768,911	766,606
未払法人税等	39,466	26,411
前受収益	529,274	586,545
賞与引当金	42,263	89,836
その他	292,021	291,121
流動負債合計	6,329,090	6,236,664
固定負債		
長期借入金	1,609,740	1,430,232
長期前受収益	272,140	284,361
繰延税金負債	164,114	19,407
その他	46,849	25,271
固定負債合計	2,092,845	1,759,273
負債合計	8,421,935	7,995,937
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,703,401	3,703,401
資本剰余金	7,545,969	8,526,698
利益剰余金	△4,059,938	△4,604,582
自己株式	△163,122	△163,122
株主資本合計	7,026,310	7,462,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	829,149	435,432
為替換算調整勘定	218,343	227,210
その他の包括利益累計額合計	1,047,492	662,643
新株予約権	315,759	335,224
非支配株主持分	-	135,761
純資産合計	8,389,563	8,596,025
負債純資産合計	16,811,498	16,591,962

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,277,444	2,516,648
売上原価	1,178,446	1,258,017
売上総利益	1,098,998	1,258,630
販売費及び一般管理費	2,061,890	2,108,160
営業損失(△)	△962,892	△849,529
営業外収益		
受取利息	37	3,066
受取配当金	2,271	500
為替差益	136,299	162,798
その他	2,179	3,970
営業外収益合計	140,787	170,335
営業外費用		
支払利息	17,315	20,520
持分法による投資損失	33,830	11,048
営業外費用合計	51,145	31,569
経常損失(△)	△873,250	△710,763
特別利益		
投資有価証券売却益	21,384	116,760
新株予約権戻入益	1,762	1,687
特別利益合計	23,146	118,448
税金等調整前四半期純損失(△)	△850,104	△592,314
法人税、住民税及び事業税	1,725	1,724
法人税等調整額	15,441	29,054
法人税等合計	17,166	30,779
四半期純損失(△)	△867,271	△623,093
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△96,588	△78,449
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△770,682	△544,644

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△867,271	△623,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,334	△393,716
為替換算調整勘定	△10,493	3,806
その他の包括利益合計	23,840	△389,909
四半期包括利益	△843,430	△1,013,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△743,740	△929,493
非支配株主に係る四半期包括利益	△99,690	△83,509

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	268,838千円	287,680千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、IoT製品、ソフトウェアの企画・開発・販売及びその他のサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。